

実践記録

学校/学年	中学校 / 3年	
教科等：単元名	技術分野：情報とわたしたち（情報モラル）	
キーワード	ワンクリック詐欺、対処方法、相談	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d4～5 危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する
	中目標項目番号 中目標項目内容	d4-2 トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	詐欺を疑似体験してみて、その対処法について考え、解決法を知る。	
使用教材	教材名	詐欺体験！ ページ
	製作者	（個人）
	入手先(URL等)	自作

展開案

	学習活動	指導 評価
入 導	1．インターネットでのトラブルの種類や具体的な例について知る。	・さまざまな形で多くのトラブルが身近にあることを認識させる。
展 開	2．ワンクリック詐欺の模擬ページを見、自分がそうしたページに出会ったときにどのように行動するか考える。 3．ワンクリック詐欺に遭わないためにどうしたらよいかグループで話し合う。 4．グループごとの発表を聞きそれぞれの行動の長所、短所を考え、解決策を探る。	<ワンクリック詐欺への対応策> ・むやみにリンクを押さないようにする。 ・文章をよく読み、現在の状態を正しく把握する。 ・おかしいと思ったらすぐに大人に相談する。 ・それぞれの行動の長所短所を例を挙げて意識させる。
お わ り	5．ワンクリック詐欺に遭わないための対応策についてまとめる。 6．警視庁のページを見て、他の詐欺についても対応策を学ぶ。	・他にも多くのトラブルの元がインターネット上には存在することを確認する。 ワンクリック詐欺などに対処する方法を理解できたか。

授業の成果

- ・詐欺などに注意してくださいと言われるが、生徒は具体的な詐欺ページについての知識がなく、気づかないうちにトラブルに巻き込まれる可能性も大きい。ワンクリック詐欺を取り上げ、模擬ページで体験させたことで、具体的なイメージを持って学習を進めることができ、他のトラブルに対しても慎重に行動しようとする姿勢を持つことができた。

指導のポイント・留意点

- ・興味本位の行動が大きなトラブルにつながることを意識させることが大切である。